

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	宝沢町内会	代 表	会長 堀 光俊 (ほり みつとし)
地域 (市町村)	県中 (郡山市)	加入世帯数	398 世帯

(1) 自治会の主な活動

1. 生活・環境 : 資源回収、町内会清掃、家庭の女尊支援、ゴミ集積所清掃、夜回り、防犯パトロール、黄色い旗運動
2. 連携・親睦 : ボーリング大会、花見、夏休みラジオ体操、夏休み交流旅行、敬老会、秋祭り (宝沢フェスタ)、グランドゴルフ、健康教室
3. 施設・設備等の管理協力 : 公園清掃、防犯設備維持管理、集会所の維持管理

(2) 自治会の特徴

JR 郡山駅から車で 20 分程度にあり近くには国道 4 号線も通る。「宝沢ニュータウン」の名称で中心市街地のベットタウンとなっている自然環境豊かな地域である。住宅団地としては平成 2 年より販売が始まり、町内会設立は平成 3 年 3 月となっている。

(3) 今年度実施事業

宝沢町内会高齢者交流活動事業

(4) 事業の主な活動内容

1. 生活支援

- ・ 高齢者支援、独居者支援を町内会全体で行う。資源物回収、ゴミ出し、健康状況の確認など、町内会として支援できることを実施する。
 - 支援の必要な時 (健康、不在) に、「ありがとうの黄色い小旗」を掲げて意思表示をし、それを確認した町内会員においてその世帯の支援へと繋げる。
- ・ 除草支援を町内会で行う。
 - 高齢者世帯や共働き世帯など、除草の必要な世帯を支援する。

2. 健康づくり

認知症予防のための講習会の実施

3. 地域コミュニティづくり

カラオケや趣味娯楽の機会を設ける。既に実施しているクラブの紹介や参加を積極的に行いながら、地域に合う活動を作り上げていく。地域にある公園を利用したグランドゴルフなど、健康促進のためのスポーツ活動も実施していく。

<「ありがとう」の黄色い旗からはじまる近所同士の支え合い>

宝沢町内会では 3 年前から役員の留任制を採用し、継続して町内の課題に取り組める体制としたのが一つの契機となった。留任した役員が「町内会事業の中で、近所同士の支え合いを推し進めるような何かができないだろうか？」と考え、それを今年度ひとつ形にしたのが、『「ありがとう」の黄色い旗運動』である。「幸せの黄色いハンカチ」にヒントを得て、月 1 回実施している資源回収時に回収場所への持ち込みが出来ない世帯は、旗を玄関先などに掲げて回収のお手伝いの意思表示をしてもらい、それを見た人が支援をする運動である。町内会における全ての世帯で使用可能とし、この旗をきっかけに地域の中の「声掛け」や「相互協力」が盛んになることを期待している。

その他にも、夜間パトロールを行い地域の安全保持と同時に円滑なコミュニケーションを図ってもらったり、地域の集会所を基盤としたグランドゴルフや趣味の会の結成など、今はたくさんの「仕掛け」を作っている。様々な場面において、町内会事業に関心をもってもらい、「近所同士の支え合い」がある住みやすい地域にしていきたいとのことであった。

活 動 内 容

① お話を伺った町内会役員の皆さん。左から、事務局長の佐藤浩一さん、1区長の大内修司さん、町内会長の堀光俊さん、副町内会長の佐藤浩一さん、副町内会長の山下幹夫さん。



③ 玄関前に旗を掲げて意思表示をしてもらうことで、支援する側も声掛け等がしやすくなる。



② 「ありがとうの黄色い旗」を全戸配布。「指定した場所に持ち込みができない」のであれば、地域内のどの世帯でも旗を通じて意思表示をしてもらう。



④本地区に新しく居住された方には、このような「案内」を配り、町内会事業の「見える化」をしている。

Welcome to

宝 沢

”笑顔と絆の町”

※住民相互の親睦

※社会に貢献

※住みよく明るい町づくり

— 宝沢町内会 —